

今注目！洗車機に純水機を付けませんか？

門型洗車機への純水機「快洗ROI」取付の流れ

門型洗車機に純水機「快洗ROI」を設置する際の費用や流れ、設置にかかる時間についてご案内します。



純水洗車機導入事例

土・日は各日平均50台無料洗車を実施。純水使用で業務効率アップ！

(株)ホンダ泉州販売 貝塚店



純水機を導入したのは2021年6月です。貝塚市の水道水は異常にカルキが多く、車がシミだらけになってしまおうという大きな問題があり、

作業効率とお客様満足度の向上のために導入を決めました。

一番のメリットはほとんど拭かなくていいところです。代車の準備(洗車)もとても簡単で、夜に洗車してそのまま

ピット保管しておけば終わりのため、黄砂、花粉の時期はとくに重宝しています。

当店は無料洗車を実施しているため、土・日には各日平均50台洗車機洗車をしています。今までは洗車担当が一人張り付いて、洗車機洗車後にすぐに拭いていましたが、今は業務を同時並行できるので助かっています。無料洗車だけのお客様は1日10~15台程度です。

純水機を使うようになって無塗装樹脂の部分、特にワイパー周りやガラス類がシミだらけになったり、白くなったりすることがなくなりました。最近は車が大きくなったので、屋根を拭かなくてもキレイな状態が維持できることもよいですね。

無料洗車なので売上の変化は特にありませんが、業務の

効率化にかなり貢献しています。

今後は有料化の動きもありますが、お客様に来店していただくのが目的のため、当面は無料のままですが、多店舗で純水を採用していきたいと思っています。



取付までの流れ

- 1 先方の会社・店舗から、KeePer技研から、KeePer技研担当者へ門型洗車機に純水機を取付けたい旨を連絡します。
- 2 先方の会社・店舗から、設置済みの洗車機メーカーへも同様に連絡します。
- 3 KeePer技研から洗車機メーカー担当者へ連絡し、現地打ち合わせの日程を調整します。
- 4 先方店舗にて、先方の会社・洗車機メーカー・KeePer技研の3社で現地打ち合わせを実施します。
- 5 KeePer技研から先方へ、快洗ROI(3本仕様)の見積りを送付します。
- 6 洗車機メーカーからも、先方へ見積りを提出します。
- 7 先方が社内決裁を行い、その後、設置日を決定します。
- 8 実際に設置作業を行います。

洗車機メーカー側でかかるコスト

純水機を洗車機に接続するため、洗車機メーカー側で以下の設備・作業が必要です。

①純水を溜めておくタンク	②純水を洗車機側に送り込むタンクユニット	①+②の費用目安 40万円~70万円
【その他費用】 ・プログラム変更に伴う改造費用 ・作業人賃・出張費用		10万円~30万円

洗車機メーカー側 合計 **80万円~100万円 (税抜)**

KeePer技研側でかかるコスト

- 快洗ROI 本体 **123万7,140円**
- 送料 **6万円**
- 設置費用 **2万4,000円**

KeePer技研側 合計 **132万1,140円 (税抜)**

設置費用の合計

182万1,140円
~**212万1,140円 (税抜)**

設置にかかる時間

試運転も含め、**9時頃スタート ▶ 15時頃終了**

純水機を付けた場合の洗車1台当たりの純水コスト

約4.95円/台(排水含む)
※水温20度、全国で平均的な水道料金の場合

※現場によって価格は変動します。

カーディーラー、ニッチな個人、整備工場などガソリンスタンド以外の幅広い現場で需要あり!!

防爆仕様じゃない「快洗Jr.? RO」開発中

すべての快洗Jr.シリーズはガソリンスタンドでの使用を前提にした防爆仕様

「快洗Jr.」「快洗WING」さらには「快洗ROシリーズ」まで、これまでの機械はすべて「防爆仕様」でした。

つまり、ガソリンスタンド=危険物取扱所で使用することを前提に作られていたのです。そのため、機械内部の距離が確保されていたり、電気まわりが防護されていたり、火花などの危険を防ぐといった安全対策が施されています。しかし、危険部取扱部以外で使用する機械としては、かなりオーバースペックで、通常の場所で使う仕様と比べると、必要以上に大きい機械になっているのです。

ガソリンスタンド以外で使用するにはオーバースペックだった

さらに、快洗Jr.5ROに装備されているRO式純水精製器は、「1時間に6台の洗車」を前提とした能力を持っています。そのため、多くの使用環境ではオーバースペックです。

また、ガソリンスタンドには当たり前前にエアコンプレッサーがあり、圧縮空気が供給されているため、快洗Jr.シリーズはコンプレッサーを搭載していません。圧縮空気は「発泡」に使うだけなので、本来は小さなコンプレッサーで十分ですが、圧縮空気が

ない場所では、快洗Jr.シリーズは使えないこととなります。

つまり、すべての快洗シリーズは、ガソリンスタンドでの使用を前提にした機械であり、高圧空気のない場所、例えば家庭の大型ガレージなどでは使えなかったのです。

「家庭で使える快洗Jr.」という発想から生まれた新モデルを開発中

快洗Jr.5ROを家庭で使えると面白いのではないかと。そんな発想から生まれたのが「快洗Jr.? RO」です。

防爆仕様ではなくすることで、小型化・コストダウンにつなげ、小型コンプレッサーを搭載することで、純水精製能力を精度ではなく量的にスペックダウンを実現しました。

しかし、性能そのものは本格的なプロ仕様です。「好きな人は、やはりプロ仕様が好き」という考えで作られています。

防爆仕様の「快洗Jr.5 RO」は、今後も生産を継続します。一方、防爆仕様ではなく、小型エアコンプレッサーを搭載した「快洗Jr.? RO」は、こだわりを持った車好きユーザー、カーディーラー、レンタカー会社、修理工場、板金工場、などで高いニーズが見込まれます。

詳細は、まだ公開できませんが、現在、試作2号機でかなり良いところまで来ています。

2027年夏~秋に販売予定



写真は試作機です。90万円台で販売を予定しています。